

Title: It's my Life



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



原いづほ
知らない世界を満し
みながら、おいしい
ものたくさん食べて
来ます！

● 最近のエントリー

- ☑ I come again sometime.
(2011.07.28)
- ☑ Imagine all the people
Living life in peace.
(2011.07.28)
- ☑ An encounter and parting
and new encounter.
(2011.07.28)
- ☑ Above us only sky.
(2011.07.28)

● アーカイブ

- ☑ 2011年11月
- ☑ 2011年10月
- ☑ 2011年09月
- ☑ 2011年08月
- ☑ 2011年07月
- ☑ 2011年06月
- ☑ 2011年05月
- ☑ 2011年04月
- ☑ 2011年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

RSS 2.0

It's my Life > 2011年07月 アーカイブ

11.07.28

I come again sometime.

[Tweet](#)

[Check](#)

7月26日：最終びっ



最終日も朝日が綺麗。ただ初めての曇り。

そんな朝日が見る中、朝からバックバックとカメラバックを抱えて、朝食を食べる為に20分先にある食堂へひたすら草原の中を一人歩いた。

草原最後の食事。

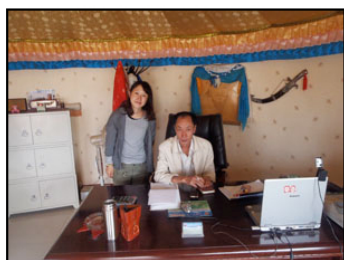
ちなみにこの2日間のモンゴルの朝食は、水が多めのお粥。たまご。・・・その他よく分からないもの。私が食べれそうだと思うのはこの2つ。

食べれそう思ったけど、結局卵はやめておきました。

6時30分頃から朝食を食べ7時にいよいよ草原ともお別れ。

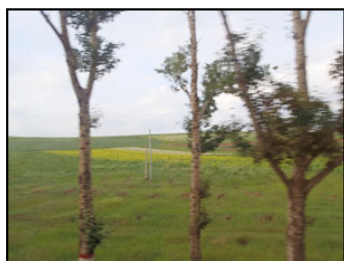
最後にオーナーさんにお礼。

そして一緒に写真を撮らせてもらった。



フフホトへ帰る方法も不安だったけど、春梅さんがなぜかバスを用意してくれていた。本当は旅行会社に電話して迎えに来てもらうという話になっていたのだが・・・もちろんそれも春梅さんに話してあった。旅行会社と話したのかな？なんて思ってたけど、結局旅行会社には話してなかったらしい。

そしてバスに乗る事もできて、草原を出た。



乗りのバスの中、また違うガイドさんが色々話をしてくれた。



「本当に中国人で日本語を話せる人は少なくてね。あなたは本当にラッキーだよ。1人で草原に来て日本語を話せる人に会えたなんてすごい事だよ。」って話してくれた。

確かに私自身も、日本語ガイドさんを探してたくらい、春梅さんがいてくれた事はすごく大きい。フフホトで話せる人いないって聞いてたが諦めてたから、まさかこんな出会いがあるとは思いませんでした。

今回の旅でとっても素敵で大きな出会いがたくさんあった。人の温かさを感じ、モンゴルの生活も少しだけだけ見た。モンゴルの生活にも密着して写真撮りたいな。なんでも思った。

夢だった草原。
今回のFWであまり出来ない観光だった。
本当に来てよかった。
まさか来れるとは思っていませんでした。しかもこのFWで。

一人じゃなにも出来なかった。
だけど、なんとかしよう、したいという気持ちがあればなんとか出来る事もわかった。

そしてそんな時には人はお互いに助け合う。

言葉の壁なんか関係なく。

中国はこのFWの中でも1番言葉の壁があると言われてきた。確かにある。どこの国よりも。
インドでいままで以上に覚えた英語もこれまで旅してきて少しずつ覚えた英語も、ここ中国ではほぼ通用しない。

中国人の人の口調が少し強くなる事もある。だけど、英語が少しでも分かる人は、助けてくれようとするし、分からなくても気にして、例え中国語しか話せなくても中国語でも話しかけて助けてくれようとしてくれる。

言葉の壁を一番感じた中国だけど、すごく楽しくて、面白かった。
何より、感動し、感謝した。



フフホト市内に戻って、都市部の空気を吸ったら余計にモンゴルの良さを感じてしまう。人の多さや、せかせかした感じも。ゆったりとした気持ちも、どこか窮屈。ギャップを感じているのを隠しきれない。

でも、忘れてはいけない事、忘れてた事、いままで出来ていなかった事、この草原で教えてもらった気がするな。

本当に内モンゴル行って良かった。
行かせて頂きありがとうございます。

カテゴリ:

post by 原 いたづ | 日時: 2011.07.28 | [バーマリン2](#) | [コメント \(15\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

It's my Life > 2011年07月アーカイブ

Imagine all the people Living life in peace.

[Tweet](#)

[Check](#)

7月25日: 2日目ば〜とつう〜

馬の乗り方も春梅さんが教えてくれた。
地元でも馬には乗った事あるけど、忘れてしまってたからドキドキ〜
乗馬中は写真と飲料の所持は禁止だった。





馬を連れて案内してくれるのは、マイコーさん。
そして私が乗る馬は「マ」って名前。

マイコーさんが私の馬も悪いてくれた。
ゆっくりバカボコ歩く。
こっそり乗った。



空には雲。とっても綺麗な青色

はあ～。のんびりだ～

目的地らしき場所に到着。

っと、マイコーさん写真を撮ってあげるよとジェスチャー。

お！ありがたい^^

カメラを渡したら・・・
ここに立ってと、たくさん撮ってくれた。
でも、この大きな草原で一人。
すごく気持ちよかったけど、
何枚も何枚も撮ってくれる。
少し恥ずかしく、寂しくなったよ・・・w



写真を撮り終わってモンゴル族の家を訪問。

っとここでも記念撮影。こちらモンゴル族の人。

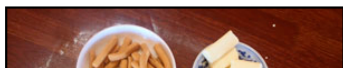


こちら、マイコーさんと。サングラスをかけていたから気づかなかったけど、とっても円な瞳。
優しさが溢れとる～

ここでお菓子を頂いた。それから・・・馬のミルク。と言われる飲み物。
大丈夫か！？と聞いたが、乗馬時に専務さんが
「お菓子とがミルク出されますけど、それは飲んでも大丈夫ですから～」
って言うてくれたのを思い出した・・・
とは言ったものと・・・抵抗ありながらも、飲んだ。

味は・・・ん”。ミルクではない。

これはいかんわ。とおかわりをくれそうだったから、即判断った。
出されたお菓子は4種類。まあまあ、珍味だけ食べれる。





写真上の2つは全然おいしくて普通のビスケットと、右はよくわからないがフルーティな味だった。

帰り際、座っていたおばあちゃん。



バイバイって手を振ると笑顔で見送ってくれた。また来たい。

なぜかこれでおしまいだった……。アレ？何か所やないっけ……。私なにか見落としたかな。

まあ良いや。

と帰り際にも写真を撮ってくれるマイコーさん。

これほど寂しいと思った事はないよ。この写真の空欄部分。そしてなんとも言えん馬。草原はいいけれど、寂しさを際立たせてでてる……。;)w



それからバオに戻り、この日は定時連絡。

日本の携帯から中国の携帯にかけられないのは分かっていたが、日本の携帯から日本の携帯ならいけるらと思ってた。

いざり時にかけた。

……。中国語でかけれないと言っている。

が-----ん。

どうしよう。

やばいやばいやばいー。

でも、なんとかするしかない。もしかしたら中国の携帯ならかけられるかも！っと、歩いて20分ほど先にあるみんながいる場所へ。知らない人ばかりだけど、ガイドさんが誰かしらいると思った。

食堂の前이었다。「英語話せますか？」と聞いたら、少し話せるという事だったので、「私は電話したい。私の携帯は繋がらない。」と説明した。餅から少しお世話になっていたガイドさんだったから、すぐにかけてくれた。。。

通じない。

え-----！

これは連絡できないとやばいって、と焦る。

春梅さんがいてくれたら、日本とも連絡とってるみたいだしもしかしたら出来るかもしれないけど、春梅さんの居場所が分からない。でも、「日本語話せる人いますか？春梅さんを探しています。」って必死になって話した。

したら、呼んできてくれた。

泣きそうやった。

あ〜。よかった。

とりあえず電話したい事、私の携帯からも中国の携帯からも電話できない事を説明した。それからもしかしたら、中国のホテルなら通じるかもしれないと、徳田さんが宿泊してるホテルに電話。

通じた。まずはロビーの人。英語話せるって聞いたら少し話せる。とにかく徳田さんに繋いでと説明したけど、私も天ばってる。

初めは理解できてなかったのが、もう泊まっていけないな事を言ってた。

いやいや、そんなはずはないと春梅さんが中国語で説明してくれた。

そしたら、徳田さんと呼んでくれて定時連絡できた。

あ〜。一人じゃ何もできないよ。

みんなが居てくれなかったら、もうまじでフフホト市内に帰っていたよ。。。

と半泣き。

電話を貸してくれたガイドさんも、違う会社。

結局、私が申し込んだ旅行会社の人はほとんどこの日は関わらなかった。

本当に人を感じた。

定時連絡を済まして、春梅さんや他のガイドさんとお話。
楽しかった。

それから夕食。私が入っているはずの旅行会社のガイドさん案内してくれないから、春梅さんや他のガイドさん達が親切に席を用意してくれた。

今回同席したのは、年配の方。
日本人だというと、微笑んで「おはようございます〜」とか言ってくれた。
きっと、戦争を経験している方もいるだろうな。
ツアーに来て、何歳も思う。
きっと参加者の中には戦争経験者も居るだろうな。その人たちは日本に対してどんな思いを持っているのだろうか。日本人の私を見てどう思ってるんだろう。
でも、誰一人私を差別するようなあしらうような事をしなかった。みんな笑顔で迎えてくれる。あしらうどころか、写真も一緒に撮ってくれと言ってきたり、日本語教えてくれと言ってきたり。なにより、食事の際、出される食事を一番に食べると言って私の目の前に置いてくれる。
そしてやっぱり自分も感じた。

私は中国語を4つしか知らない。言っている事も分からないし、私も話せない。だけど、それでもあたたかく受け入れてくれる中国人。みんなすごく仲がいい。

中国と日本、複雑な事もあるけれどみんながみんなそうじゃないと思う。中国と日本私ができる事じゃないし、私が考える以上に複雑なんだと思うけど、今中国見て、人間わり中国という国を感じて、日本と中国の関係を思うと少し悲しくなった。

そんな気持ちにもなりながら、今を楽しんだ。
みんなで囲むご飯は本当においしい。
モンゴルに来て、ご飯が少し心配だったけど全然おいしい。
ただ、やっぱり羊の肉は少し癖があるね。。。
ご飯を食べ終えて、夕日を一人で見た。

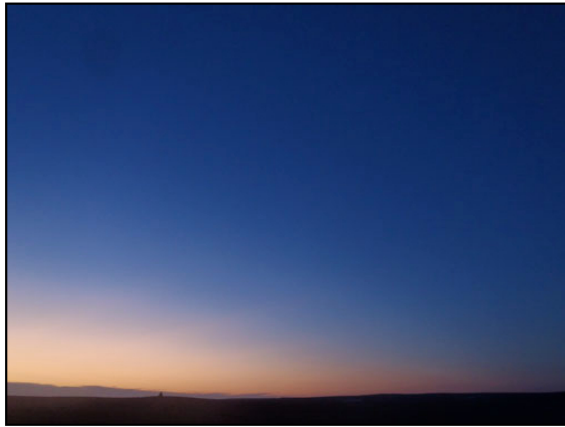


大洋が地平線に近くて遮るものがないからか、自分の陰がいつもより長い！

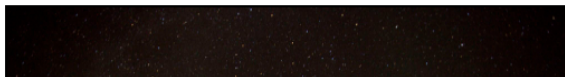


夕日を見て、やっぱりこれは誰かと見るものになって、少し思った。
昨日は、彼女やその仲間がいたから、余計に楽しさも倍やったんになって。

でも本当に綺麗な夕日。



朝は曇一つない空だったけどお昼には曇も少しあったから心配だったけど、この日も満点の星空。
ラッキー♪
モンゴル最後の夜。
ゆっくりと星空を見上げて過ごした。





post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.28 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

カテゴリ:

[It's my Life](#) > 2011年07月 アーカイブ

An encounter and parting and new encounter.

[Tweet](#)

[Check](#)

草原 2日目ばーとわん

パオの寝心地は普通によかった。熟睡。
ダンスは多分夜もやっていたみたいだったが、そんなに気ならなかったのか、疲れてたのか・・・。
でも、寝れてよかった。

朝、部屋の外で声が聞こえるから起きた。
そしてコンコンとドアが鳴った。

昨日同じ年だって教えてくれた彼女とガイドさんだった。
彼女を通じて英語で話す。
昨日紹介されたガイドさん。

「鍵を下さい。」

え？

「私ここにもう一泊するんだけど・・・。」って言った。
そしたら、21歳の彼女が

「私たちは他の場所へ行って宿泊するよ。私たちと一緒に行く？それともここにいる？」

英語を通じるし、彼女たちと一緒にいった方が、ガイドも一緒だし帰る時に説明しやずいかもしれない。そう思って、「一緒に行く」と私は言った。

(他の場所。この時、他の場所というのを私は草原の中にある他のパオへ行くのだと少し勘違いしていた。よく聞き取れなかった。)

とりあえずガイドさんの言う通り、荷物をまとめて部屋を出た。
バスで食事をする場所へ。

朝食を食べる。

アナザーブレイス。

ん～。。

本当に草原なのか？・・・

やっぱりなんか違う気がする。

フフホトの近くだって言ってたような～。

「私は草原に泊まりたい。」もう一度言ってみた。
21歳の彼女もそこまで英語が出来る訳ではないから少し困り気味。
ごめんね。と思いつつも、出来る限り話す。

話をすると、やっぱりフフホトの近くのホテルだと言う。
草原じゃなかった。

これはいかん。

このままだとフフホトへ帰る事になっちゃう。
まっとうな訳じゃないかな～・・・

どうしよう。
ガイドさんに話が伝わっていない。
ジュリアさんに電話してもらい説明してもらった。
もしこのままフフホトへ戻るのであれば本気でお金返してもらおうと思った。彩漢でも、でも、なんとか理解してくれた。

っと、これまで一応いてくれたガイドさんも、21歳の彼女たちも朝食を食べたらフフホトの近くに移るという。

本当に21歳の彼女にはとてもお世話になった。
最後は迷惑かけてしまったけど、本当に出会えてよかった。
もっと私が英語話せたら。もっと中国語分がれば。
もっともっと話したかった。
アドレスは交換したけど、結局その時は名前も聞けなかった。

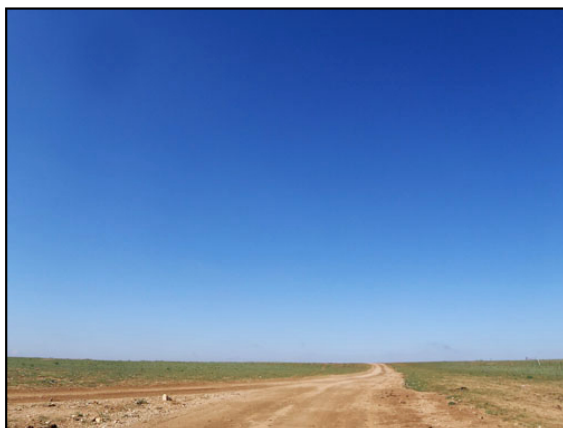
日本に来た事のない彼女、いつかまた会おうねって約束した。

彼女達を見送った後、オーナーさんに部屋を案内してもらった。
このオーナーさん、とても親切。

部屋に落ちついて一安心。
外も晴れてたから一人でお散歩。



観光客の人たちみんな帰ってしまったから。本当に一人。
空には雲一つない。



ふー。とひと呼吸。
そして自分で自分を撮る。





この写真、撮ってるとき、ブンブンうるさい。
なんじゃい。蚊かと思った。

ハエやった。

ハエが私に乗っている××
私の周りを飛んでいる。○

この写真にもよく見ると映っている。ゴミのようなやつ。
一匹じゃない。たくさん。><

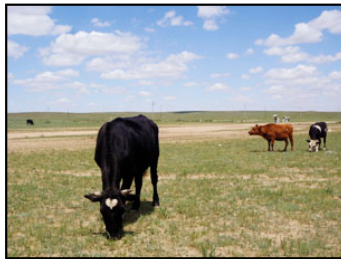
私は馬じゃないっつーの。

っとハエに言った。

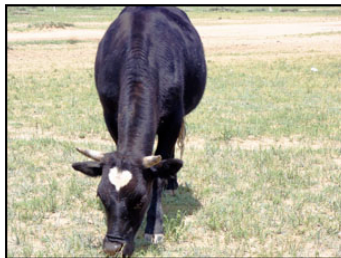
いいもん。それでも飛び回るハエなんか気にしんもん。；；

綺麗な空を見上げたよ。
ハエなんか気にならなくなるほど、綺麗な空と草原。

それから少し歩いたところに牛が放牧されていた。



よくみると頭に≡(ハート)模様の牛っ！



超可愛いし～
って撮ってたら、僕も可愛いでしょ～と今度のはパンダ模様の牛！



可愛いな～

とここで、観光に来てたみんな帰っちゃったけど・・・。

どうしよう。
誰もいないけどお昼、どうやって食べればいいんだろう。。。
心配になる。
でも、私が昨日11時頃にここへ来たように、また団体がくるら。
って事でひとまず一餐入り。

お昼前になると、案の定、ツアー客とガイドがたくさん来た。

よかった。

けど誰に聞けばいいかな～・・・。
中国語がわからないし、英語もなかなか通じないし。このままお昼なしでいっか～。。
あ～暇だったよ～。帰郷、夜に誰かに言えはいいか。

と諦めていたら見た事のある人発見！多分、お願いしてる旅行会社の人や！と思ひ声をかける。

英語話せる？って言ったら少ししか話せない。
いろんなガイドさんが一生懸命私の言いたい事を理解しようとしてくれて、英語が話せる人は自分の電話番号を教えてくれて、「私があなたをヘルプするわ。何かあったら電話してね。」何歳この言葉を聞いただろうか。すごくすごく嬉しかった。こんな見知らぬ日本人で、違う会社の人らしき人までも気にかけてくれた。

おかげで帰るまでには帰郷してからもよかった。僕も僕も帰郷してからもよかった。

なんどかお返事へたい事は理解してくれたいので、痛まぐ痛ましくくれた。
席でご飯を食べていると、肩を叩かれた。
なんだろう。また何かあるのかな。って思って振り向くと「こんにちわ」って。

！

「日本語話せるんですか？！！！！」

感動！

「はい、話せますよ。」

びっくり！

フフホトでもう日本語話せる人と出会う事はないと思っていたから。
すごくすごく嬉しかった。

彼女はガイドの春梅（チュンメイ）さん。

このオーナーさんが、「日本人の女の子一人で来ていて言葉も分からない。誰が日本語話せる人いないか」って気にしてくれて、日本語話せるガイドさんに来ていたツアーのガイドさんの中から探してくれて、春梅さんが話せるって事で紹介してくれた。

本当に本当に嬉しくて泣きそうだった。

やっぱり言葉が通じなくてもなんとかなっていったし、中国人の人はみんなフレンドリーで助けてくれる。でもやっぱり不安もあったし怖かった。



春梅さんはモンゴル族。

今はモンゴルを案内するガイドとしてフフホト市内に在るという。春は日本人の団体さんが来てた時にガイドをしていたというが、最近では人数も少なく、ほとんど中国人の団体さんばかりらしい。日本と仕組みが違って、ガイドさんたちに直接案内の予約をすればガイドさん自身で旅行会社を運べて、ガイドさんに予定が入ってなくて、旅行会社に予約をした場合、旅行会社からガイドさんをお願いする。とう仕組みらしい。ガイドさんは常にフリーガイドって事。かな・・・。だからガイドさんをお願いする時は20日前にガイドさんに予約の電話を入れればいんだって教えてくれた。（これからモンゴルに行く後輩がもしいるかもしれない。ぜひその時には助けて欲しいとお願ひしたら、電話番号とアドレスを覚えてくれた。私もまたモンゴルに行った時には連絡したい。）

それから、日本には一年半留学経験があると教えてくれた。日本でのバイト先の事も、兄弟が今日本に居る事も。それから後氏さんの話も。日本には最近忙しいけど結構来てもららしいから、また会えたらいいな。

色々話して、オーナーさんにも改めて挨拶をした。

春梅さんを通して話す。いままでの表情が少し柔らかくなった気がした。最初は怖いイメージだったけど、オーナーさんも言葉が通じなくて戸惑ってたんだなって思った。

その後馬に乗る事に。

でも値段が高い・・・。

二カ所回って240元。プラス一緒にしてくれる人の分が同じだけ240元だから、合計480元。

迷ったら、オーナーさん、300元でいいよ。ってオーナーさんのご好意で安くしてくれた。

本当にありがたい。

カテゴリ:

post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.28 | [ホームリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

It's my life > 2011年07月アーカイブ

Above us only sky .

[Tweet](#)

[Check](#)

初日はーとすりー

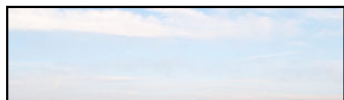
それから夕食の時間になったからみんなで食事。

ロンロン達は、帰ってしまったけど草原まで一緒に来たツアー参加者の方に同席。

モンゴルの日はとても長く、7時になっても明るい。
夕日が落ちてしまうのではないかととても心配だった。

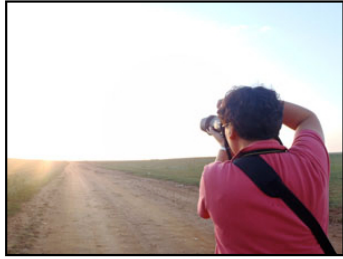
急いでご飯を食べた。

ご飯を食べ終わって、さっき一緒に草原を見に行った彼女たちと一緒に夕日を見に夕日の方に向かって歩く。





日は徐々に沈んでいく。
ピンクのボロさん、カメラを構える。
私も負けじとカメラを構えた。w



21歳の彼女は母親と来ていたらしい。
とても楽しそう。
でも、少し・・・寂しかった。

彼女は英語が出来るから、たくさん話してくれた。星綺麗だっても教えてくれた。私も
すごく星望みにしててたから、すごく期待してた。この頃から雲も何故か減ってきてた
し。

彼女にも聞かれたし、たかさんの人に聞かれる。

「なぜ一人でここへ来たの？」って。

私は、答える。

「空が見たかったからだよ。」

って。
難しい説明は出来ないから単純な言葉で言った。
でも、本当に空が見たかった。満点の星も見たかった。空大好きだから。
人生で一度は来てみたかったモンゴル。
地元にある小さなモンゴル村。いつもその道を通ると必ず目がいつてすごく気になって
たバオ。いつか泊まりたい。いつか言ってみたくて、話してた。

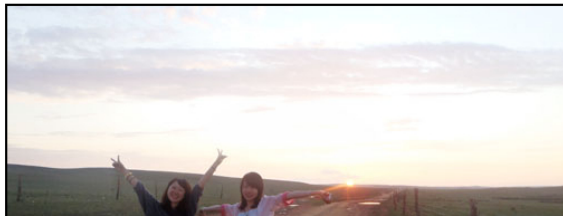
そんなモンゴルに私は来てる。
夢に見た草原に立っている。

すごく嬉しかった。

彼女も空好きだって教えてくれたから、一緒に見る約束もした。
彼女のホームタウンもまた綺麗だと話してくれた。ぜひ来てっても言ってくれた。
いつか行きたい。
彼女とお互いが同じ年って分かって、すごく距離が縮まったのが、言葉も片言でお互い分
からない事もあったけど、すごく嬉しかった。

素敵な出会いに感動した。
素敵な夕日にも感動した。

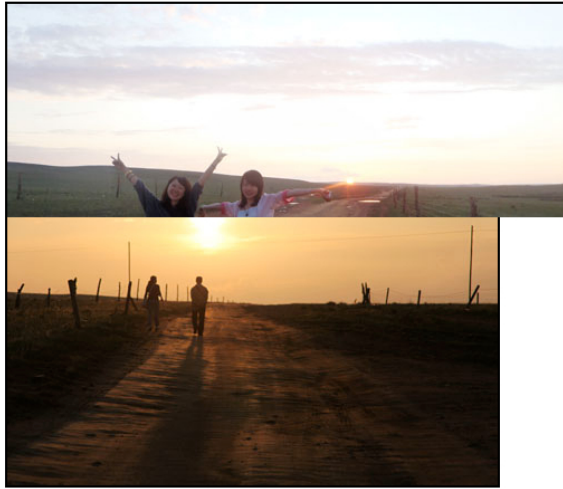
すごく嬉しくて、思わず夕日をバックに二人で万歳ポーズ！



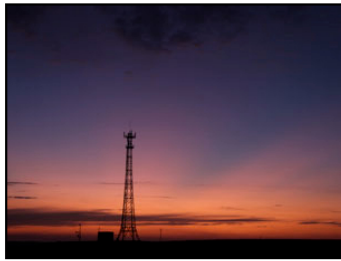
彼女も空好きだって教えてくれたから、一緒に見る約束もした。
彼女のホームタウンもまた綺麗だと話してくれた。ぜひ来てっても言ってくれた。
いつか行きたい。
彼女とお互いが同じ年って分かって、すごく距離が縮まったのが、言葉も片言でお互い分
からない事もあったけど、すごく嬉しかった。

素敵な出会いに感動した。
素敵な夕日にも感動した。

すごく嬉しくて、思わず夕日をバックに二人で万歳ピース！



日が落ちて空はまだ蒼色



日が落ちて辺りが暗くなったら今度は、みんなで火を囲んでダンス。
民族の音楽と思ったら・・・
まったく違った。
BSBやクラブミュージック・・・
民族衣装を来た女の人たちもノリノリ。



これは踊ろう！
と彼女と二人で踊った。
手をつないで輪になったり、上半身裸になる男性もいる。
あり得ないほど近くで花火も上がる。
怖いから花火・・・



それから二人で星空を見にバオの外へ。
でも、彼女は明日朝が早いという事で、しかもかなりの薄暮。
早めに部屋に戻った。

私は写真も撮りたかったし、見ていたかったからもう一度草原へ

あり得ないほどの星の数。
満天の星空とはこの事だ。
すごい。
谷本先輩のリベンジ果たした！
感動で言葉も出なかった。
これほど綺麗な天の川は人生で初めて。
カメラで撮影もしてたけど、ゆっくり見ていたかったから。
まっと馬の糞も、牛の糞も、羊の糞も土になったような草原の上に一人寝転がった。
私の上には何億と輝く星。
満点の星空。
流れ星もいくつか見ただろうが。
最高の夜。

カメラを構えて写真を撮った。

撮っていたら、谷本先輩が来てくれて一緒に写真を撮った。

痺ってくる、どこからか中国へ何人かがやってきた。
そして写真を見せてと言われて見せてあげると、すごく喜んでくれた。
一緒に空を見て、思った。
反日があるのも知ってる。私なんか知らないような難しい事もあるのも事実だと思う。
だけど、この空を見て、中国に来て、1日を通して、すごく暖かくて優しい中国人の人
と出会って、
国境なんかなければいい。
言葉もまったく分からない。だけどそんな関係ない。お互いがお互いの事分かるとうす
る気持ちさえあれば、言葉なんて関係ない。
って思った。
この空を見て、ジョンレノンのイマジンを聞きたくなった。
そしてこの星空の中、草原に寝転がってイマジンを聞いた。



カテゴリ:
post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.28 | [パマリソク](#) | [コメント\(7\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

It's my Life > 2011年07月アーカイブ

JAMP!!!!

[Tweet](#)

[Check](#)

初日はーとつー

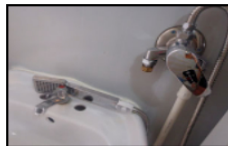
ジュリアさんに一応女だから抽り部屋がいいとお願いしておいたらちゃんと抽り部屋。
一つのバオの半分に仕切って出来ている。



私に用意されたのは現代式バオ。
予想以上に綺麗。びっくり。



トイレもシャワーもある。



いや～、これは普通のホテルと一緒くらいじゃん。
やったわ～

って部屋に荷物をやっと置いて、晴れて来てたし草原を見に外へ
パオの側では羊を絞めている。



っと、隣の部屋の人が声をかけてくれた。
何を言ってるかは分からない。
とにかく言葉が通じなくて返事が出来ないから自分が日本人で話せない事を伝えなくては・・・。
そして英語話せるか聞いた。

その人は英語話せなかったけど、日本人だと分かると「OK～OK」って感じで優しく微笑んでくれる。

それからその人とも別れて、パオのある敷地から出た。



少し歩くと、さっきの隣の部屋の人が友達と一緒にいた。
友達の中の一人の女の人が、

「ハロー」と英語で声をかけてきてくれた。
「何処からきたの？」
「英語話せますか？」

少し話せると言ったら、自分も少しだけなら話せるよと教えてくれた。
そして一緒にパオの周りを歩こうと誘われ、一緒に行く事に。



ここで一緒に記念撮影を！後から分かった事だけど、左のサングラスをかけている彼女は21歳で同じ年。とってもかわいい。（ちなみにこの写真を撮ってくれたのは、趣味で写真を撮っているという後から出てくるピンクのボロシャツの女性。写真、すごく上手くて積極的、刺激的だ。）

色々話してくれる。自分も英語少しだから聞き取れない事も多いけどニュアンスや単語を聞き取って出来る限り話をした。楽しかった。

これはモンゴルのオボーっていうものらしい。
地面に落ちていた石を拾って供える。そしてお願い事をする。

みんなやっていたから私もやってみた。

っとこのグループの唯一の男性が写真を撮ってくれた。



そして記念撮影。



っと、カメラが趣味のピンクのボロさんもお祈りを。なんかかわいい。

それから先輩たちがやっていたモンゴルの草原でJUMP!!!!!!
私もおしても草原に来たらやろうと思った事っ！””



次へJAMP!!!→

カテゴリ:
post by 原 いつほ | 日時: 2011.07.28 | [ポマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

It's my life > 2011年07月アーカイブ

Sheep,Sheep,Sheep

[Tweet](#)

[Check](#)

7月24日から二日間、内モンゴルへ行ってきました。

正直、大変でした。
でも、その何倍も楽しかった。

内モンゴルへは一応ツアーという形で手配しました。
一応というのは、結果、ほとんど個人で旅するようなのだったと言う事です。
しかし、一人ではなく本当に多くの中国の方に助けられました。
とてもたくさんの出会いに私は感動し、感謝しています。

7月21日：北京からフフホト市内に飛んできてその日の中にツアー手配。
ホテルの人に日本語の話せる人を紹介してと頼んだら、フフホトには日本語話せる人がほとんどなくて難しい、という事で英語の通じるという旅行会社の紹介された。(前のブログでも書いた人)
その人と出会い、草原には「1泊のツアーと、草原に1泊して次の日に砂漠へ行って1泊する」というようなツアーがある」と教えてくれた。
でも私は草原だけでよかった。「砂漠には行かずに、草原に2泊したい。できますか？」と聞いた。
「OK、手配しておくよ。」「何があったらあなたをヘルプするから。」と言ってくれた。
ちなみにこの時、ガイドが英語が話せるかって聞いたら、「little」やっぱり話せる人は少ない。(この後話せない事でもとても大変になる事は想像もしていなかった。ある程度は覚悟していたが・・・。とりあえず、草原2泊できるからいっか。って思った。)

そして出陣。雨。

約束の時間は7時30分。
日曜日でもないから、ホテルに荷物を置いていく訳にもいかない。
全部の荷物を持ってホテルのロビーで待った。
7時30分ちょうどくらいに、ガイドさんが来てくれた。

お、北京より早いじゃん。出発かな。って思ったら何故か旅行会社の前で降ろされた。
ん？

とりあえず中に入った。
そしたら他のお客さんもぞくぞくとやって来た。
旅行会社の前に集合してみんなで行くんだ。
と、待つ。

10分、20分、30分……

一緒に草原行くっぽい他のお客さん。切れ気味。
旅行会社のスタッフさんも、イライラ。
でも、私には何言ってるか分からないし、なんで遅れてるのかも分からない。
スタッフさんが悪いのかも分からない。お客さんが怒るのも分かる。
でも、雨も降っていたし仕方ないかなって、ただ待った。
中止になったら、お金返せとは思ってたけど〜。

バスを待っていて言われた事。私のバックバックとカメラバックを見て
「お前この荷物持ってくるのか？すごい荷物だな〜」的な事を少し笑いまじりで言われた。
「いやいや、みんなこそそんな身軽で大丈夫かい？草原楽しいし、泊まるんじゃないの？」
って思った。私が思ってる事は中国語分からないから伝えられないけど、本当にみんな身軽だった。お菓子と貴重品だけくらいの勢い。

本当に成り立たない会話でも、ジェスチャーや返事をする事くらいはできるからそんな会話と言えない会話をしながらバスを待った。

待つ事約2時間。

ようやくバスまで案内された。
バスが止まったのは一つ先の向かい道路。
みんなかなりの勢いでバスに向かった。
そんな〜雨降ってるし、急がなくてもええら〜。
って大荷物な事もあって走れないからゆっくと、バスへ向かった。

っと、席がない。

あっは〜。そういう事か！
みんな席を確保する為に急いでたんか……。
あらら、これはどうしよう。

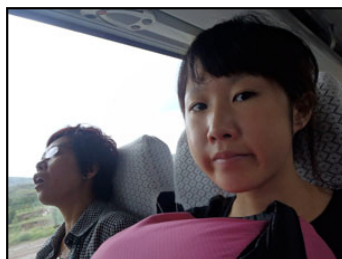
っと、バスの道路で中国語が分かれば開けるしな〜。と、かかって思ったら、大竹しのぶ氏のお母さんの隣が空いてた。



あ、ここいい？

初めは、なんかダメみたいな事を言ってる気がしたからダメになって思ってガイドさん待った。でもガイドさんもすぐには来なかったし通じるか分からないから、もっかい聞いてみた。そしたらOK〜よかった！

いや〜しかし大竹しのぶに似てるじゃない？
って一人ぼんやり。
中国語分かれば教えてあげたいな〜なんて思ったり。



席について初めは中国人かと思われたらしい。中国語でべらべらと話す。
中国に来て、自分から「日本人（イーヴェン）」と名乗らないとぼぼ分かってもらえない。
しかも、私が「日本人」と言ってもほとんどの人に伝わらない。発音が難しい。
この時も通じず……。

ガイドさんが来て、一人ずつ名前を言って人数を確認し始めた。
私、申し込んだのはいいけれど名前を言っていないよね。
ジュリアさんには言ったが伝わってるんか？
大丈夫かなって思ってたなら、誰かを探し始めた。
自分じゃない？名前を言っていないけど人数に入ってるかな？
ジュリアさんじゃないし〜・・・
って思ってたなら、案の定私を探していたらしい。
だけど、私の席を通り過ぎる。

？

(あ、私じゃないんだ。でもさっき「日本人」って言ってた気がするんだけど)

私が日本人で参加している事を知っている人が「この子だよ。この子日本人だよ。」的な事を言った。

ガイドさん、納得。全員そろっていたようだ。

私が日本人だと分かったら、バスに乗ってた人全員の注目的。

そして、隣の席の大竹母さん笑いながら、「ガイドさん、あなたを中国人と思っていたわよ。顔が似てるからね。」ジェスチャーを使いながら中国語で話す。(多分こんな事を言ってた。)

私も笑っておいた。きっと気づかないだろうなとは思ってたし。

みんな一斉に見るもんだから逆に可笑しかった。

それから大竹母さん、日本人だと分かったら片言の英語で話しをしてくれた。

すごく頼もしい。

バスの中ではガイドさんが中国語で案内してくれている。まったく分からない。でもとりあえずみんなが笑ったら一緒に笑ってみたりもした。意外に面白かった。よう分からないけど。

たまに大竹母さんが英語で教えてくれたりもしたからなんとなく分かった。



そんなガイドを聞きながら草原へ向かった。

草原へは約2時間と言う事だったが、3時間くらいだった。

その間、カラオケ大会。

反対側の席のおっちゃん、熱唱。



途中、トイレ休憩。



屋根も崩れているこれがトイレ・・・おそるべし。(これは本当に一部にすぎなかった。)

さすがにここでトイレは行かず、とりあえずバスの外に居たら、みんなタバコ吸ってる。そして片言の日本語で「こんにちわ〜」「ごきげんよう〜」と言う。それと片言の英語。しかも、「日本の歌歌って!」と促られる。いやいや、アカベラでしょ?無理有るって〜。と即断した。

なんだかこの時からすでに、楽しかった。言葉通じないし、反日もあるからって少し警戒もしてたけど、すごくフレンドリーな中国人。すごく嬉しかった。

朝バスを待っている時に一緒だった小さな女の子はガムをくれたりもした。

それからトイレ休憩を終えて、少ししたら草原に到着。



本当に周りにはなんにもない。

でも、観光地だけあって人は多い。



草原に到着したら雨が止み曇り気味。
降ったり止んだり。

どこに居たら良いのかも、何をしたらいいの、ダメなのかも分からない。

そんな自分を大竹母さんとその家族が私を助けてくれた。
まずはトイレへ行こうと言われて、一緒に行った。

ここで初めての経験の
公開トイレ。

もちろん、男女は分かれているけど、下から30センチのしきりがあるだけのポットン便所。目の前にはトイレを待つ次の方々が並んでみえる。以前に聞いた事はあった。昔の中国や田舎はドアも何も無いしかもポットン便所だよって。

これの事が・・・・。笑うしかなかった。

でも、このトイレを始めて見た人もいたらしくにびっくりしている人の中にはいた。そりゃあ、びっくりするよね。と同感してた。

トイレを出てみんなの所へ。
すると、一緒に写真を撮ってくれと言われる。

日本人が珍しいのか・・・・。私の可愛さか・・・・。んな分けないわと日本人スマイル！

すごい勢いで撮影してて時間もなくて、私のカメラではみんなとは撮れなかった。

残念。



私のカメラで撮れたのは大竹家族のみ。
大竹さん。女優の顔じゃないよ・・・。
自分でも笑ってた・・・。
(ここまで来てしまうと、大竹さんでなくなってしまう・・・。)
素ん中の女の子は同い年。大竹さんの名前は聞き忘れてしまったけど、この女の子の名前はロンロン。
ロンロンは、大竹母さんと一緒に英語が少し話せる。

写真撮ってたら雨が降ってきて、そしたら傘と一緒にに入れてくれた。



傘なかったのは私以外にもいて、みんなで傘をシェアしてた。
すごく暖かいし、人と人がお互いを思いやる気持ちを感じた。

それからお昼ご飯。
大竹家族と共に来ていたらしき人たちに同席させてもらった。

お昼ご飯は、モンゴル料理。

っと・・・お約束のように羊の丸焼きが出てきた。(毎日昼と夜に出る。)



びっくり。
話には聞いていたが・・・生で見ると迫力がある。

そしてみんなそれをカメラやビデオで撮影。
私も一緒に撮影。

羊が出てきて、ボスマらしき人が歌い始めた。(毎日朝、昼、晩歌う。)



モンゴルの民謡らしい。
彼が歌ってる後ろでは徐々に羊が解体されていく。





ただこの人、歌上手いのだろうけど、歌い終わっても拍手はない。
なんかとても可哀想と少し同情。
だってこれを毎日、毎日、朝昼晩歌ってる。
歌ってる途中にその場を離れる人もいるし。
きっと彼は慣れてしまったのかな。
彼と写真を撮りたかったけど、結局最後まで撮れなかった。

お昼ご飯を終えて、モンゴル相撲が始まるというから見た。



馬も一緒に見学。
なんだかたるそう～



この頃には雨も上がり曇はあるものの空には青空が！



ここで少し不安があった。
私今夜泊まるんだけど何も言われてないし、バックパックはバスン中だし～
早く荷物置きたいんだけど・・・。

大竹家族と別れてガイドさんのところへ

「Can you speak English?」

「A~little・・・！」

私も少しだし、話してみた。

「私は今夜どこに泊まるのですか？
そして、私はここに泊りたいです。
あなたはそれを知っていますか？」

ジュリアさんとは違うガイドだし、名前も「日本人」ってなっているみたいだから不安だから聞いてみた。

・・・まったく通じない。

ツアー参加者で大竹家族以外に英語が話せる人がいたら、その人に説明してもらおう事に、でも私自身も英語は少ししか話せないし、それでお出迎えの蒙古語も話した。

でもなかなか通じない。

携帯に入れておいた地球の歩き方の、「この電話番号に電話してください。」と中国語を見せてジュリアさんのナンバーと名前を見せた。始めは分かってもらえなかったけど、英語が話せる別の女性が理解してくれたようでジュリアさんに電話してくれて、なんとか通じて、今日泊まる事は分かっていたらしい。ガイドさんたちも英語も日本語も話せないから、通じにくい。覚悟していたけど、ここまで大変だとは想像以上。

ジュリアさんは言ってくれてないようだったけど、英語のできる女性を通して私は2泊したいという事もなんとなく分かっているようだった。。。

それから、もう一つ聞いてみた。ガイドさんが3日間変わるというのはジュリアさんに聞いていたが、次の日はどうしたらいいのかが。このガイドさんが乗るのは理解していたが次の日は誰なのか。そしたら、一諸の旅行会社のガイドさんを紹介してくれた。

その人も本当に少ししか英語が話せない。でも「私があなたをヘルプする。何かあったら電話して。」

私が2泊する事も分かっていたように思えた。

(ここで分かったのは、一緒にフフホト市内から来ていたツアー客のみんな、ほとんどが着泊せず、日帰りで嵐原を見に来てたという事。どおりで身軽な訳だ。)

とりあえず、その日に泊まるバオへ

カテゴリ:

post by 原 いつほ | 日時: 2011.07.28 | [バーマリンク](#) | [コメント\(5\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[It's my Life > 2011年07月 アーカイブ](#)

11.07.23

フフホトはまだ明るい。

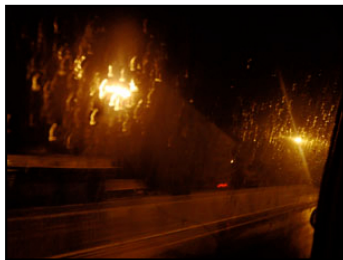
[Tweet](#)

[Check](#)

只今中国、フフホトです。

7月21日、フライトが早朝のため前日にホテルの人をお願いしてタクシーを手配。ホテルを朝3:15分に出発。北京のホテルから空港まで約1時間。

まだ辺りは真っ暗。



空港到着。

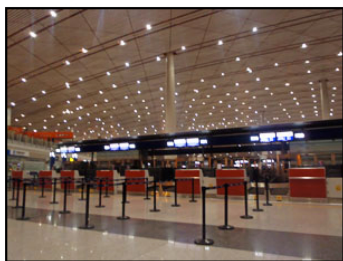
とっても静かな空港。

チェックインインフォメーションでフライトナンバー&カウンターを確認。

よし。

カウンターに向かったけど.....

誰もいない。



そして周りではみんな寝ている。



心配になった。早朝は初めてだったからよく分からない。

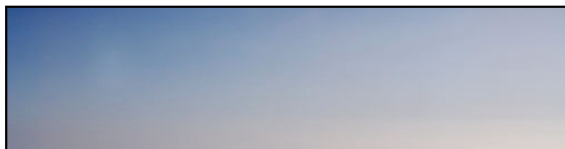
でも、間違ってもいないはずだから~。

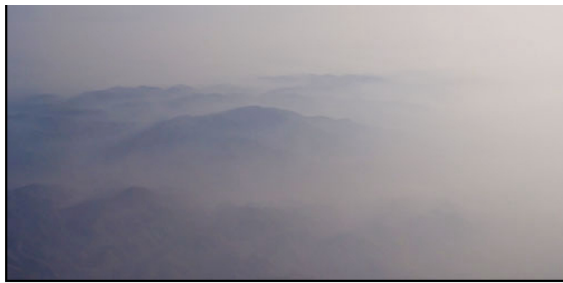
5時前になってようやくカウンターの人が現れた。

あ~。よかった。

それから予定通りフライト。

北京を飛び立つ頃には、日が昇っていて綺麗でした。





北京からフフホトまでは約1時間。
フフホト到着。



親戚のおじちゃんに似ている後ろ姿のタクシーの運転ちゃん。
察かしい～
元気がな～
会いたいな～
食べ過ぎてないかな～
すきやて～

なんて可笑しくて、涙しかった。
しかも陽気やったし。



それからその日のうちに草原に行く手配をしに旅行会社へ

英語の出来る人をホテルの人に紹介してもらった。
呼和浩特市瑞嘉旅行社有限责任公司的ジュリアさん。
ジュリアさんはゴグンダラ草原出身らしい。
私もそこに行きたい。っていうと、なんか今は政府の関係で行けないらしい。
徳田さんや五十嵐先生、先輩方が行かれた草原だったし行きたかった。
でも、ゴグンダラはフレンドリーでラプリーできれいだよって、嬉しそうに話すジュリアさん。
私もなんか嬉しくて、余計に行きたくなった。

今回は行けないけど、いつか行きたい。



フフホトの街を少し歩いて、フフホトの人、北京や成都の人とはまた違う静な気がした。
なんというか～。
がわいい。

街ものんびり。ただ想像よりも都会。





まだ7時だというのに、全然外は明るい。



そしてフフホトに来て、毎日一日中何かが鳴っている。

花火のような～
はじめはまさかの銃声?!かとも思った。

やばいら?

って思っではいたけどちょっと銃声とは違う。
花火か?
何かお祭りか?
でも、昼間だぜ?

で、今日、かなり近くで鳴ったから窓の外を見てみた。

したらマジで花火だった。



なぜだろう?

すごく不思議。

明日から内モンゴル草原へ行きます。
シラムレン草原です。5期の谷本先輩が行かれた草原ですね。
私も、中国は楽しみです。

谷本先輩、星空を見にリベンジ行ってきます^^)/
“虫は～・・・。一応現代式バオらしいのですが・・・。
格闘します。



カテゴリ:
post by 原いつほ | 日時: 2011.07.23 | [バナーリンク](#) | [コメント \(27\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

It's my Life > 2011年07月 アーカイブ

人、人、人～

[Tweet](#)

[Check](#)

7月21日

北京で万里の頂上に登ってきました!

中国は以前から万里だけは見たいと願っていた事。

タクシーで行こうと思ってたところ、タクシーだと700元くらいしちゃうからって、英語の通じるホテルの人に紹介してもらったツアー。



1日で市内と万里回って200元。

中国だから中国人が多いのかと聞いたらうん。そんな事もないよ。と、それからガイドは中国語で聞いていたら、うん。っと返事が返ってきた。

まあ、万里の頂上見えればいっかって感じでお願いした。

そして当日、朝から雨。ああ～。雨降っちゃったな。まあ、止むといいな！
って7:30分に迎えが来ると約束して、1時間待った。ん～。まだかな。

ホテルの人も気にしてくれて、後10分だよ。って教えてくれた。

予定よりもずいぶん待ってようやくガイドさんが迎えに来てくれた。

バスの中に入ってみると、中には中国人が一人もいない。

外人さん向けのツアーなんだ～。
と違ってたら、ガイドさんも中国人なのにバラバラの英語！



おお！ラッキー♪
まだ英語の方が分かる。
それにしても、カップルが多いよ～。

気にしない気にしない。。。

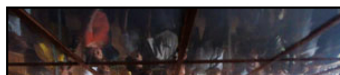
鈴木くんが言っていた。。。。

ツアー人は寂しいよ。

本当だね。
予想以上に寂しかった。
ツアーとか観光地にはみんな居た方が楽しいかもって思ったよ。
寂しかったよ。鈴木くん。



万里の他にも市内観光を！





お昼ご飯食べて、いよいよ万里の頂上へ！
朝は雨降ってたのに、段々太陽が出てきて天気もよくなってきた。

万里の方に行くにつれて山、山、山～

そして到着。
万里の頂上の上には歩いていけるけど、ゴンドラもあるという事で、みんなでゴンドラ
で行く事に。
でも、その時点からかなりの行列。人、人、人～



30分くらい並んでようやくゴンドラに乗った。
ゴンドラはまるで絶叫マシーン。

ガゴン。というその直後、すばらしい早さで登っていきます。
絶叫好きな自分でも最初はビビりました。

ゴンドラから改めて人の多さを実感。

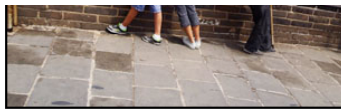


万里の頂上にも、すごい人、人、人～



万里の頂上まではありえないほどの急斜面。
みんな斜めになってる。
それが面白くて一人突ってた。





ツアーに参加して、ツアー仲間はカップルや家族連れが多いけど、とってもフレンドリー。
言葉の壁はあるけれど、みんな「私が英語話せない」って言うと、「僕らも日本語話せないから」って、「出来る事はヘルプするよ。」って言ってくれる。
一人のアメリカから家族と来ていたにいちゃんは、私の前に立って道を歩いてくれた。

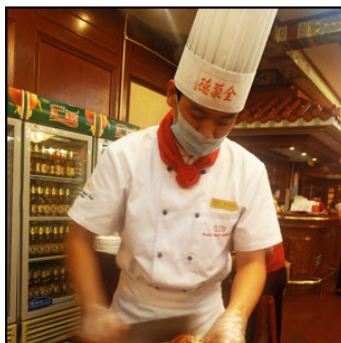
FWを通して、アジアの国も感じるけど、それと同じくらい他の国も感じている。

最後にオリンピック競技場を見学してツアーはおしまい。
この値段でこれだけ回って、しかも英語のガイドさんやったら全然いいよ。
楽しかった。

それからこの日は、北京にいる徳田さんと壺と一緒に夕食を！

北京で北京ダック！(^^)ノ

北京ダックは人生で初めて。





食べ方がなかったけどおいしかった！
みんなの写真がないのは、北京ダックに夢中だった訳です。。。すみません。

北京には少ししかいなかった。
少し惜しい気もする。北京も面白くて歴史ある街な気がする。

もっと居たかったな。

中国フフホト市内からでした。
明日から内モンゴルの草原に行ってきます～！

post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.23 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[It's my Life > 2011年07月 アーカイブ](#)

地上のレストラン

[Tweet](#)

[Check](#)

7月20日

成都から北京へ飛びました。

先に北京入りをする森上さんを7時に見送り。



8時30分に私も、高野さんと空港へ向かいました。
空港についてチェックイン。

チェックインで少しトラブル・・・。
この出来事は一生忘れない気がする。

かけつけてくれた、高野さんありがとう！



無事にチェックインを済まし、11:30分の便に乗る事が出来た。

とりあえず搭乗できた事にホッとしてたら、
フライトの時間になってもう一向に飛ぶ気配なし。

なぜ？

そしてステeward-デスが中国語でアナウンスしてる。

何？

まったく分からん！

近くに座ってた欧米の人になんで飛ばないの？って聞いたらATC、って言う。

う～んと分からない。

。。。でもとにかく何かあったんだね。

って待ってた。

日本で文字が目に入ったから新聞ももらってみたいした。

全然、日本のニュース知らないからアテシコジャパンが世界一になった事も知らなかった。



それから、なんだかスチュワーデスが動いているな～って思ったら、

機内食が出てきた！

ええええー！

なんで？

え？

まだ飛んでないよ。飛行機！

離陸してから食べるものじゃないのかな～・・・。

ん～。ウケるんだけど。。。



っと一人楽しくてご飯を食べました。写真はその時を満しむ事に夢中で撮り忘れてました。

普通に飛んでない飛行機の中で食事。
機内で食事。

離陸前に機内食を食べたのは初めてです。
これでは飛行機型の普通のレストランでわ？

味は普通に美味しかった。

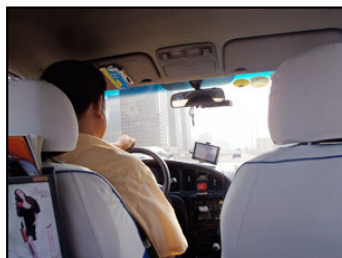
結局離陸しない機内で2時間。
多分、天候のせいかな？
飛ばなかった。

北京到着してホテルへ。

タクシー乗り場へ移動。

いつも通り、行き先の住所と電話番号が書いてある紙を見せた。

なんとなく分かったようだ。
大丈夫？って聞くと大丈夫だ。的な事を言っている。



っと、街に近づくにつれて様子がおかしい。
なんだ、この漢字。あってんのか？
みたいな事を言っている？
しょうがないから、書き直した。

それでも分からない。
番號番號もあるからかけられぬアケた。

それでも分からないらしい。
すごく口調は怒り気味に聞こえた。でも、一生懸命ってのも感じてた。

これが普通。そんな言葉を思い出し、冷静を保つ。

ごめんね。一生懸命やってくれてで何か言ってるけど、まったく分からんよ。

それも英語で言っても通じない。中国も話せない。

この国で言葉の壁は大きすぎる。

でも、中国の人が悪い人じゃないのもすごく中国入って少しだけ分かってたから、もっと話せたらいいなっ自分の無力さを感じてた。

なんか、筆談でガソリンがない的な事も言ってる。

結局、この人じゃダメだなって思ったから、タクシーを降りた。

おつり来ない事覚悟で100元渡した。

もう面倒なことも嫌だったから、おつりいらないよ。
これでガソリン入れなよ。
後から文句言われるのも面倒だし。
言葉分かんない。

怒ってる様子にも見えたら、普通ならそのまま持っていっちゃうかなって思ったら、ちゃんとおつりくれた。

なんだ。やっぱり悪い人やないんだ。普通なんだ。

こっちがイラつかないでよかった。

結局その後に乗ったタクシーのおちゃんの方がセコかった。

中国人の口調は、英語ともまた違うから少しキツク感じてしまう。
だけど彼らにはまったくそんな気がないのも、中国を旅する人間としては思っていたい。

親切な中国の人々を感じている。
言葉の壁はどこ国でも感じる。
だけど、言葉が分からなくても、分からないなりに旅をする事は出来るという事も感じている。
*もちろん、語学力があったほうがいいけど。



カテゴリ:

post by 原 いつほ | 日時: 2011.07.23 | [ポマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[It's my life > 2011年07月 アーカイブ](#)

11.07.22

パンダパンダパンダ～

[Tweet](#)

[Check](#)

成都に到着した翌日、

袁さん、柳川さん、徳田さんとパンダを見に行った！
もちろんあのパンダTシャツで！”

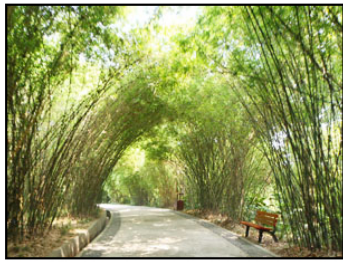
どうしても着ていきたいくて、前日に洗って乾かしておいた。少し半乾き・・・。気にしない～。

成都大熊貓繁育研究基地は、成都市内のホテルから後1時間くらいかな。
少し遠い。



すごく園内は広い。びっくりするほどで、少し日本の植物園や、動物園に似てる気がした。

歩いても歩いても、竹やぶ～の道が続く。



地図で見ると最初のパンダは、14号。

ん？なんだ14号って。

園内の地図には他に、1号、2号とある。

その他のパンダはどこだ？

もしや実験に失敗して、この14号、1号、2号しか見せられないのか？！

なんて4人で話しながら～

14号を見つけた。



竹を食べてる。そしてお客さんに背を向けてる～・・・面白い。

音がしようといまいと一生懸命食べている。最高だね。パンダ。



そして、一休み。

食べてる姿はまるでおやじのようだ。

中にちっこいおじさん入ってんじゃない？
あれ、かぶり物なんじゃない？

って徳田さんと柳川さん。

その後、きちんとサービスでみんなの方を向いてくれた。
やりますな。14号。





14号は私の中でもとっても印象深いパンダ。中国で見た最初のパンダ。

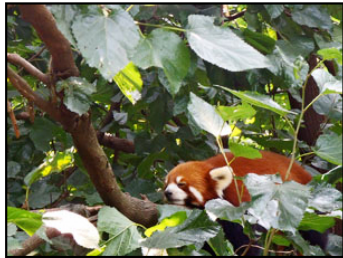
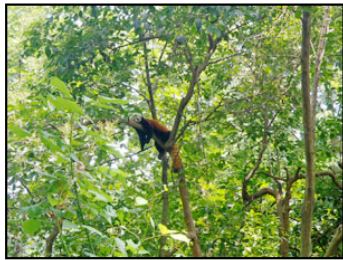
次のパンダに会うまで、距離は長い。

パンダのいる場所がそれぞれ離れている。

それから1号パンダを発見！
これはレッサーパンダだった。

二日酔いなのか！生きてるのか！

と思うほど、グテッ〜と木の上で寝てる。



パンダを見るまでの広い園内を歩くのは大変だったけど、見れたときは嬉しいし、やっぱりパンダはかわいい。

でも、今は日差しも強いからレッサーパンダ以外は屋内のみ。
あつくて、外に居たら、レッサーパンダの二日酔いみたいにみんななっちゃうのかな・・・。

でもそれは、室内でも暑いのは変わらないみたいだった。

どこの標のパンダを見ても、あつさにやられて、くだ〜。

やる気あります？って感じ。w

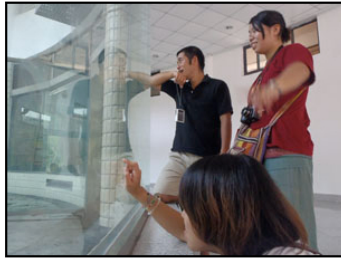


まるで、全部が制限のように見えた。

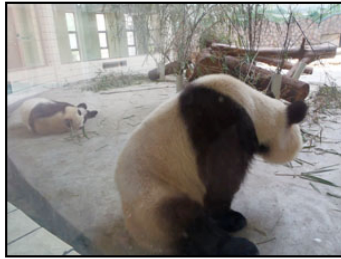
これはないでしょ〜。↓
本当に産物だって。



みんなそんな、ゆる〜いパンダがまた面白くて。
こっちを向いてくれた時、少し動いた時、そんなちょっとした事でもなんだか嬉しかったよ。



お～い。こっちを向いてよ～。
と、こっちを見るのを楽しみにしてた！



なんだよ。
あっち～いんだよ～。
かゆいんだよ～。



と言わんばかりが、みんな起きると体を足でかいてた。
そうですね。暑いそうですね。かゆいそうですね。

本当にみんなお疲れなのが、夏バテなのが・・・。
よく分からないが、このユルさ好きですよ。
こんなにパンダがかわいいとは思わなかった。

屋外でも見たかったけど、みんな二日酔いになられても困るから、ゆっくり屋内に居てく
ださいって感じでした。

出来る事なら、パンダTシャツをもう一枚買いたかったけど、残念ながらこのTシャツに
かなうパンダはいなかった。



もう、少し白さを失ってきてしまったこのTシャツ。
まだシッポはとれてません。
毛玉なんて気にしない！
日本まで絶対来て帰ります。

カテゴリ:

post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.22 | [パーマリンク](#) | [コメント\(7\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[It's my Life](#) > 2011年07月 アーカイブ

FWも10カ国目になりました。

[Tweet](#)

[Check](#)

FW最後の国、中国へ入

りました。

でっと思つと本当に早いものです。
インド、ネパールあつと言う間やった気がします。

中国へ飛ぶ飛行機の中、あつという間の時間を振り返っていました。

あ〜。もう10カ国も回ってきたんだ。

いままで感じなかった事を感じ始めてる気がします。

~~~~~

7月19日

マレーシアからネパールまで引率をして下さった丹下さんが、ネパールカトマンスから、  
インド、マレーシア経由で日本に帰られました。



みんなと固い握手をかわし、寂しいけどお別れ。  
丹下さんは、インド行きの特典のアナウンスがかかるまでみんなと一緒にいましたっ！  
そして、ゲートへ入り丹下さんの姿が見えなくなるまでみんなで見送り。

丹下さんとは、本当に短い間で、しかも他のメンバー以上にそこまで関わる事もなかった  
ですが、本当にお世話になりました。ありがとうございました！^^  
また9月帰国した時を楽しみにしております。

それから私たちも中国に向けて出発！

ラサヘ飛ぶ飛行機の窓から、ヒマラヤが見えました！

飛行機は、ヒマラヤの周りを旋回してくれて、みんな大興奮！



残念ながら、ヒマラヤが見える窓側の席に誰も座っていなかったけど、それでも、窓から  
見せてもらって写真を撮る事に成功！  
徳田さん、つづみ、高野さんは積極的でした。



飛行機の窓から見える風景に感動！

中国入国はラサ。  
ラサは中国後半でもう一度観光でみんなと共にいきます。



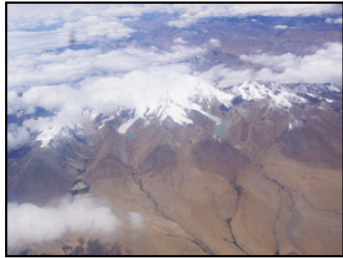
ラサの風景はびっくりでした。  
空港は全然きれい。  
だけど、周りはやっぱりラサだなって思った。  
徳田さんから聞いてた様に、え？ここに空港あるん？ってとこやった。  
まず川に寄陸するんかと思った。  
そんな感じ。







想像してた、ガイドブックに乗ってるラサが目の前に広がってた。  
そのままだけど、そのままやったからこそなんか嬉しくて、又それを超える風景もあって  
後半のラサが今から楽しみ！



ラサ経由で成都へ到着。  
到着が予定よりも2時間遅れ。

中国からは畜田先生が引率をしてくださいます！

2時間も待ってもらい、ありがとうございました！

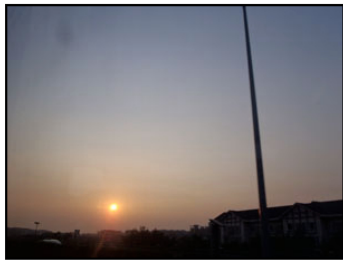


久しぶりの再会にみんな大喜び！  
そして話したい事ばかり。  
これからまた中国の間お世話になります^^！

日本語が話せるガイドさんとホテルへ移動。  
まず中国最初の都市、成都。  
印象はすごく綺麗！って事。  
ガイドさん曰く、成都是気候も落ち着いていて過ごしやすく安全らしい。

ホテルに着いて街を歩いても、また来たいなってすごく思った。  
なにより、マレーシアぶりのスターバックスにも会えて感動でした！

中国は最後の国です。  
飛行機の中から拉差以外にもこの大きな中国を見ですごく楽しみになりました。  
中国では、万里の頂上、内モンゴルへ行ってきます！



カテゴリ：  
post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.22 | [バーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[It's my Life > 2011年07月アーカイブ](#)

11.07.16

雲の上を歩きたいよ。

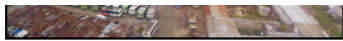
[Tweet](#)

[Check](#)

7月14日。

約一週間お世話になったボカラともお別れ。





この日もヒマラヤは見えなかった。残念。  
だけど、  
カトマンズへ向かう飛行機の中、この雲を見て歩きたいと思った。



前の席のつつみんと、  
「ドラえもんのだ具で巻くめられるやつなかったけ？」  
あるならマジで歩きたい。

飛行機でそんな話をしていたらあっという間にカトマンズに到着。

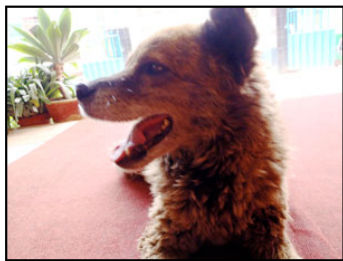


カトマンズについて、  
空気が違った。



なんだろう。ホカラの空気がよすぎたのかな。  
すごくゴミゴミしてて、インドと似てる気がした。

ホテルには、丹下さん、鈴木くんが迎えてくれた。  
あ、それと、こんそうも。



それから次の日、日本に荷物を送りにガイドのアショカさんにESM（国際郵便）に連れて  
行ってもらった。



約3キロくらいの荷物だったんだけど、2800円！  
驚きの安さ！  
あ〜。もっと安い物しかなかったな。なんて思ったり。

| S.No. | Countries  | Upto 200 gms. | Additional per 500 gms. | Estimated Delivery Time |
|-------|------------|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 1     | AUSTRALIA  | 1300.00       | 350.00                  | 5-7                     |
| 2     | BANGLADESH | 900.00        | 200.00                  | 4-7                     |
| 3     | BHUTAN     | 750.00        | 200.00                  | 3-7                     |
| 4     | BRUNEI     | 900.00        | 200.00                  | 7-10                    |
| 5     | CANADA     | 1500.00       | 350.00                  | 7-10                    |
| 6     | CHINA      | 950.00        | 300.00                  | 7-10                    |
| 7     | DENMARK    | 1400.00       | 350.00                  | 7-10                    |
| 8     | EGYPT      | 1200.00       | 30.00                   | 7-10                    |
| 9     | FIJI       | 1300.00       | 350.00                  | 7-10                    |
| 10    | GERMANY    | 1600.00       | 350.00                  | 7-10                    |
| 11    | HONGKONG   | 900.00        | 250.00                  | 5-7                     |
| 12    | INDONESIA  | 950.00        | 300.00                  | 7-10                    |
| 13    | IRELAND    | 1200.00       | 350.00                  | 7-10                    |
| 14    | ISRAEL     | 1350.00       | 350.00                  | 7-15                    |
| 15    | ITALY      | 1500.00       | 350.00                  | 7-10                    |
| 16    | JAPAN      | 900.00        | 300.00                  | 4-7                     |
| 17    | KUWAIT     | 1350.00       | 250.00                  | 7-15                    |
| 18    | MALAYSIA   | 900.00        | 250.00                  | 5-10                    |
| 19    | MALDIVES   | 950.00        | 250.00                  | 7-10                    |
| 20    | MYANMAR    | 1100.00       | 250.00                  | 7-10                    |

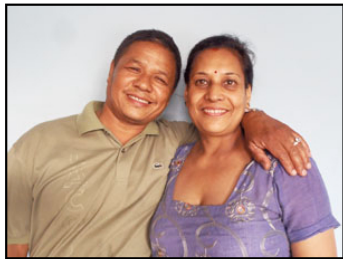
金曜日は午前中だけで、私たちがホテルを出たのは12:45分ごろ。  
ぎりぎりだった。  
土曜日はやっていないから次の日は無理だった。  
よかった。送れて。  
ぎりぎりになってしまったけど、それでも行ってくれたアショカさんには感謝です！

郵便を出し終えた後、アショカさんにmomoをごちそうして頂き、近くにあるお宅にお邪魔させてもらった。



奥様を迎えてくれて、そこでもまたごちそうになった。  
娘さんは今海外に留学中で寂しいって話してくれた。  
少し日本を思い出したかな。。。

本当に心優しい。カトマンズにいる間本当にお世話になった。  
忙しいにも関わらず、ありがとうございました！



カテゴリ:  
post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.16 | [バナーリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

It's my Life > 2011年07月 アーカイブ

## ネパール孤児院③

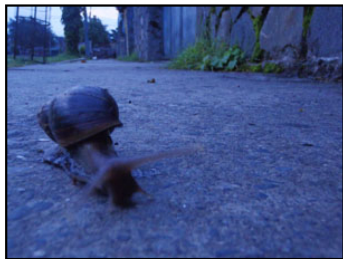
[Tweet](#)

[Check](#) 孤児院最終日

朝4時に孤児院へ向かう。まだ当たりは真っ暗で静か。



歩いていると、久しぶりにカタツムリを見た。



フェイスブックで、日本にいる友達に書いてたつぶやきを思い出した。

日本の実家ではたくさん見てたカタツムリ、海外で見れた事になんか、すごく嬉しかった。

他の国でも見てたかな？ネパールでは小さなカタツムリにも気づく事ができたよ。

少し形は違うけど。

孤児院最後の日、朝からみんな、

「今日が最後の日なの？」って聞いてくる。

「そうだよ。」

って言うと、悲しい顔をする。

それから、いままで孤児院ではなかった以上にキスをほっぺにしてくれたり、ハグをしてくれる。

「ありがとう！また来てね！」

そんな一言がとっても嬉しい。

だけど、私が帰るのは夜。

朝から嬉しいけど毎回言うのは、

「違う違う、私、まだ帰らないよ。」

あんまり伝わっていないのが、それでも一日中言ってくれた。

(ここまで言われると早く帰った方がよいのかと心の中で若干複雑。)



最後の日、すごく思ったのは、私は英語話せないし、ボランティアでもない。それにも関わらず子供たちもスタッフさんも、私を受け入れてくれた。

日数で言えば3日間しか居られなかった。

だけど、子供たちとの時間は1週間いたがの様な感覚になった。

やはり、居る時間は長ければ長いほどいいかもしれないけど、後らとの時間は不思議なものだった気がする。



子供たちは最後にたくさんの贈り物をしてくれた。

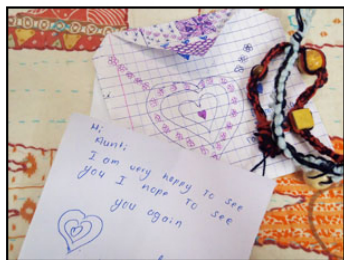




子供たちが書いたスポンジボブの絵。  
上手さに感動したら、最後にみんなのサインを書いて私にくれた。



ピナたちも手作りのミサンガとお手紙をくれた。



結局、贈り物以上に彼らには言葉にできないたくさんのもをもらい、数わっている。  
取材を重ねる事に、感じる事。すごく多くて面白い。

post by 原 いつほ | 日時: 2011.07.16 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

It's my Life > 2011年07月 アーカイブ

## ネパール孤児院2日目

[Tweet](#)

[Check](#)

二日目  
朝から孤児院。子供たちの朝は早くて忙しい。  
子供たちは朝食を食べ終えた後、学校へ行く時間まで勉強する。  
子供たちが勉強している横に私も一緒におらせてもらった。



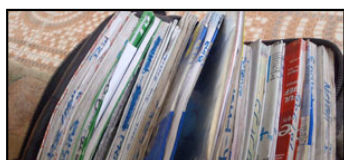
子供たち、勉強を始めるやいなや見覚えのあるというか、そろばんをやり始めた！  
日本じゃもう見なくなって、出来る人も少ないのに〜。  
すごいわ〜。って感心したら、子供たちクスクス笑ってた。  
(横振りのせいじゃないっす。)



子供たちが学校に持っていく教材。

・・・重そう。

みんな同じ重を学校には持っていくそうです。







それから9時30分に学校へ  
他の国から来ていたボランティアさんとハウスマザーと一緒に子供たちを学校まで見送り。



孤児院にいる間、一番私になついてくれたくれた子。写真右、名前ピナ。



そしてこの二人は本当の姉妹です。  
二人には、両親はいない。

ネパールは日差しが強いからか、みんな日傘をさしている。  
ピナも、日傘をさして私を入れてくれたから、一緒に持った。



私の肌の色を見て

「白い～、きれい～」

と言ってくれた。  
そして私の腕と、の腕をくっつけた。

少し戸惑う。  
どこの国に行っても白い事を必ずと言っていいほど言われる。  
自分たちは黒いよ。っても言う。  
「差別」って言葉が頭をよぎってなんか考えさせられる。  
ただいつも思うのは、肌の色は違うけど、色なんが関係なくて友達になりたいって思う。  
そして、肌の色も言葉も関係なく友達になれる事もこの旅で実感している。

ピナと一緒に学校へ向かう途中、ピナは歌を歌ってくれた。  
多分英語の曲。上手とは言えないけど、とっても声はきれいで私も一緒に歌いたくなった。  
歌うのも好きだけど、歌詞を書く方がもっと好きだって教えてくれた。  
ピナに、日本の歌も教えてあげたい。

ピナと話しながら、歌いながら歩いてたらあっと言う間に学校。



大きい！小中高一緒。  
ちなみに隣には幼稚園らしき建物もある。

みんなの見送りをした後、ハウスマザーとボランティアさんと3人で孤児院へ戻る～



ん？

行きと違う道を通った。

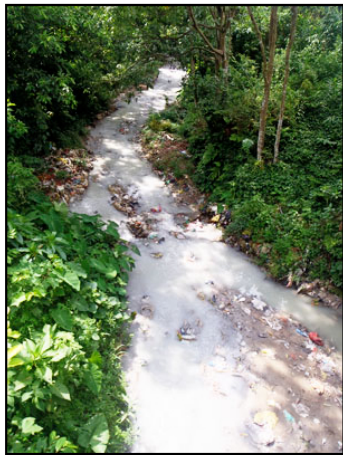
少し歩くと道の側にある水路に流れる水が白い。

え？

なんだこれ？

まさか・・・汚染？  
このボカラで？

本気で汚染かと思った。  
それから少して川があって、川にはゴミがたくさんあったから余計に。  
それと、インドで黒い川を見るからかな。



でも、後から聞いた話では、ボカラに流れる川は白いらしい。  
それは山の影響だって、詳しくは分からないけど、なんかよかった。

これで汚染だったら悲しすぎる。  
白い川きれいだと思ってしまったから。。

それから、汚染だと思ってたときの衝撃がもう一つ。  
田んぼの水も白という。  
びっくりでした。



子供たちは順行って、午後4時まで帰ってこない。  
その時間に私も休養～。

午後4時子供たちが帰ってきて一緒にご飯食べて、勉強して。  
子供たちと生活を共にする事で本当にいろんな事を教えてもらってばかり。  
楽しい。



## ネパール孤児院1日目

[Tweet](#)

[Check](#)

ネパールボカラ。  
写真展準備から写真展終了までお世話になったナマステチルドレンズホーム（孤児院）で撮影！  
その様子を少し。

初日はお昼から。  
そしたらみんなお昼寝中。  
かわいいね。



そんなもって私も一緒にお昼寝をしちゃったりー  
ベトナムでもだけど出来るだけ彼らと一緒にの事をしたい。

この時は睡魔が激しかったとは、言えない言えない。

お昼寝の後は自由時間。  
オリンパスのカメラを貸してあげると、  
カメラを持つやいなや、写真を撮り出す。興味津々だね。



ちなみに、写真よりもムービーの方が彼らは興味を持ったらしい。  
後から見直すとムービーが多い。

そして、見せてもらおうと私しか映っていないムービーが。

そして子供たちが笑う。

子供たち、笑いながら横に首・・・。

ん？

げ。

そういう事ね～。  
自分首を横に振ってるわ・・・。

これはインドでついた癖です。  
インドではイエスの時とか、私たち日本人は縦ですがインドでは横に首を振ります。。  
っとインドでは横振りが当たり前だったけど、ネパールではあまり見かけない？  
ネパールも横振りなのかもしれないませんが、孤児院では笑われものようです。  
子供たちはみんな縦。。。。

あはは～、もういいんだ。（横振り横振り）

横に振るのはまだまだ抜けそうにありません。

初日は少ししかいらねえなかった。だけど、短い間でも一緒にお昼寝をしたり写真撮り合ったりして楽しかった。

[続きを読む "ネパール孤児院1日目" »](#)

## 感謝!

[Tweet](#)

[Check](#)

写真展無事に成功出来

よかったです。

今回の写真展では、ナマステチルドレンズホームの方々をはじめ、ヒマラヤンゲストハウス、ヒマラヤンキッチンの皆さんにはFV出発前から何度もかわしたメール、写真展準備から、最後の最後まで、大変お世話になりました。

会場がぎりぎりまで決まらず、すごく不安だった。  
ネパールとのやりとりも初めての事ばかり。  
英語の出来ない自分。

リーダー引き継いで、全然リーダーらしくないリーダーで頼りなかったけど、最後までついてきてくれたメンバー。

つつみ、清水さん、高野さん、池さん。  
みんなで協力していなければ、成功も出来なかったと思う。  
お互いお互いを考え、うまく行かない事もあったけど、最初から最後まで協力して、1人が出来ないとはみんなで支える。成功できて本当に良かった。

池さん、無事に写真展終わりました！  
みんな忙しい中、みんなで協力してここまでできてよかったです。  
池さんには、写真展以外の事もたくさん相談にのってもらって、日本で忙しい中でも色々一生懸命やってくださって本当にありがとうございました！

又、日本で写真展準備を手伝ってくださった、宍倉先生、奥先生、鈴木先生、デザイン校の皆様。たくさんの方々のおかげで、今回素敵な写真展を開催する事ができました。

会場が急遽変更になり、ご迷惑をかけてしまったのに最後まで、たくさんのお事を日本でサポートしてもらい、現地ポカラではメンバーに助けをもらって良かったです。

ポカラについて、  
会場を見た時、  
日本から雇った写真を見た時、  
お倉さんが来た時、

とってもとっても嬉しくて泣きそうだった。

たくさんの方々にご協力をして頂き、本当に心から感謝の言葉を申し上げます。  
ありがとうございました。

それから私たちを最初にポカラで迎えてくれて最初から最後までお世話をしてくれたヒマラヤンキッチンのMr.Mohanさん。

とってもフレンドリーで親切な27歳。  
写真展準備の時からいろんな事を手伝ってくれた。



徳田さんととっても仲良し





もちろん、私もモハンさんとは仲良しですよ！  
彼にはとっても元気をもたらします。  
人の暖かさを感じます。  
片言の日本語で話しをしてくれる。  
でも、言葉の量をすごく感じる。  
そしてそれがすごくストレスで、痛しくて悲しい。  
彼の人の暖かさはすごく分かる。でも、私が英語を話せないからなかなか難しいものがある。  
もちろんニュアンスや、ジェスチャー、単語と単語で話す事も出来るけど、やっぱり限界がある。

「ごめんなさい。私英語少ししか話せない。」

でも、そんな私に彼らは、

「問題ないよ。」

全然話せてるじゃないか。  
君も英語話せないけど、僕らも日本語話せないでしょ。」

そんな言葉を言ってくれた。  
彼らの楽しさすごく嬉しい。だけど、とっても悔しかった。悔めだった。

絶対今度行く時には英語、話せるようになりたい。  
そして彼らに日本語を教えてあげたい。  
旅の話、写真の話、日本の話たくさんするんだ。



ボカラののんびりさに、自分を感じた。

post by 原 いつほ | 日時: 2011.07.16 | [バナーリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[It's my Life > 2011年07月アーカイブ](#)

## 写真展 3 \* 最後

[Tweet](#)

[Check](#)

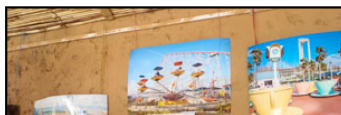
写真展二日目には朝から団体さんが！  
近くの中学校の生徒さんたち。  
大きなバス一台に約40人。  
男女20人づつに分かれて見学をしてくれた。



20人づつで待っている子たちに高野さんが写真を見せてあげたり、カメラについてもお話をしたり。



みんな興味新々。  
ちなみにその時には他にもお客さんが。  
写真の前で子供たちが嬉しそうにポストカードを持っていたり、







英語、日本語の勉強を！



それから、ラジオ局の人がインタビューに  
最初この美人が来たかと思った。

このラジオ局の人、なんと高校生。  
見えない、きれすぎる。

ネパールの人は本当に大人っぽくて美男美女が多い。



インタビュー内容は、なぜ写真展を開催しているのか。旅の事も聞かれた。

そんなもって全部英語。  
清水さんが答えてくれた。

清水さん、ありがとうございました！

インタビューも終わって、ゆっくりしてたら山にかかった雲が・・・





徳田さんと二人歩いて屋上へ

ボカラに来て一番きれいに山が見えた日。  
それを嬉しそうに見つめる徳田さん！



初日、ホテルの人に、山が一番きれいに見える時間を聞いた。

「朝が一番晴れるよ。」

「どれくらい？」

「それはできるだけ早くかな。」

と言われて毎朝早起きをして山を見ていた徳田さん。そして雨だと分かったら5秒後には夢の中だったらしい。

本当によかったですね。

この山はマチャブチャレって名前。  
ホテルの人に朝が一番見えるって聞いてから、徳田さんだけでなくメンバーみんな、早起きしてました。この時は私と徳田さん、清水さんが見えなかったけど、山の頂きを見た時、雪がかかっている山を見た事にすごく感動しました。

私たちが山を屋上で見てたらホテルの従業員さんが、笑ってた。



山にはパラグライダーも飛んでいて私もめっちゃくちゃ飛んでみたい！  
地元でもパラグライダー飛んでいるけど、ずっと飛びたかった。  
帰ったらやろうかな。

ネパールの人、ボカラの人にとっても山が見えたりするととっても嬉しそう。  
そして山が見えたり、パラグライダーが見えた時にはすぐに教えてくれる。

とってもあったかい。

写真展最終日までの間、2回、山を見る事ができた。

カテゴリ:

post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.16 | [バーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[It's my Life > 2011年07月 アーカイブ](#)

11.07.11

## 写真展2

[Tweet](#)

[Check](#)





初日から雨だったけどたくさんの方が来てくれた。  
基本的に子供多い。  
今回写真展を開催するの中で、私たちの目標としてたくさんの子供たちに見てもらう事。  
というのがあった。そして初日にして雨降りて平日なのに、子供達がたくさん来てくれて  
嬉しかった。  
ナステチルドレンズホーム産外の孤児院もいくつか来てくれた。  
案はボカウはとっても孤児院が多い。  
なんでと孤児院の人に聞くと、

「観光地だからだよ。孤児院の場所は主に政府が決めているんだ。」

って話してくれた。  
ナステチルドレンズホームもボカウに2カ所あって、ナステチルドレンズホームの子  
供達はボカウ以外の場所からも来ているという。

7月11日から撮影をさせてもらう。

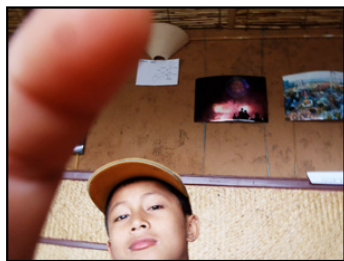
来て子供たちにオリンパスのカメラを貸してあげると、とっても嬉しそう！  
それにしても、たくさん写真を撮る！  
子供たちはみんな嬉しそう。  
日本人を初めて見る子供たちもいた。  
カメラを初めて触る子供たちもいた。  
なんだか、不思議で嬉しかった。  
私が、外国人を初めて見たのはいつの事やったかになって考えた。  
いったったかな。お父さんの仕事の関係で幼い頃に会ったかな。  
小学校の英語の先生がっただけ？  
記憶が薄くて結局、あいまい。

普通に考えたら当たり前の事なんだろうけど、とっても不思議で初めての感覚だった。

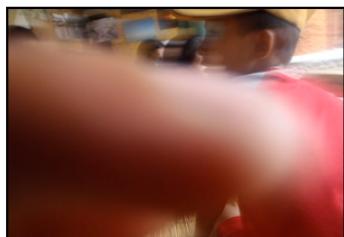
私たちが外国人なんだな。

あんまり見る事も少ないであろうカメラを嬉しそうにがまう子供たち。  
カメラを渡すとバシャバシャ撮り始めた。

一部紹介。



徳田さんと撮りあっこ





写真っていいね。

まるで親子のような徳田さんと子供ちゃん

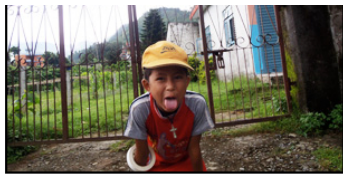


ナマステルドレンホームの人が垂れ幕を作ってきてくれた。



その垂れ幕を嬉しそうに持つつみん！  
垂れ幕を貼っていると近所の子供たち、写真展を見に来てくれた子供たちがやってきました。





子供たちはみんな元気、それからボカラにきて、インド以上に牛を見ます。ホテルの周辺にも迷い牛や、水牛が飼われていました。



牛は好きだし、本当にのんびりなボカラです。

写真展をやっている会場のレストラン。この窓からネパールの人の顔がいつも見える。



そしてみんなニコって笑ってくれる。写真展に来てくれなくても、ボカラの、ネパールの睡かさを、人の温かさを感じていました。

post by 原 いつほ | 日時: 2011.07.11 | [バーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[It's my Life](#) > 2011年07月 アーカイブ

## 7月7日：写真展初日

[Tweet](#)

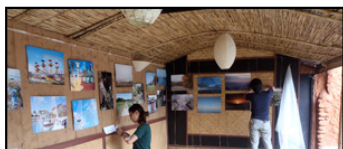
[Check](#)

写真展、無事に終わりました。時間は過ぎてしまいましたが、写真展初日からの様子を上げていきます。

写真展初日当日  
ボカラは毎日雨です。

予定より一日早い写真展オープン。少しバタバタしてしまっただけ。ホテルの人や、レストランの人、孤児院の人がいつもお手伝いしてくれました。本当に感謝です。

写真展初日の7月7日。朝から最後の準備でみんなで頑張りました。







写真会場には風船を置こうっ！  
という事でみんなで膨らませる事に。



つつみん、清水さん、上手に膨らませるなが・・・。

高野さん。

「酸素がなくなる～」とぼやき。

「風船ってどうやって膨らませるんだっけ？」

「忘れちゃったよ～」

一生懸命膨らませようとするものの、膨らまない。



高野さんが風船を膨らませるのはシア。  
そして、なんだか可愛いと思ってしまった。

いや、本当に高野さんが風船膨らませるのは面白かった。



やりきって疲れている高野さん。



ご苦労様。

そんなこんなで写真展準備を終、開催予定の11：00には第一号のお客さんがっ！  
ナマステルドレンズホームの人に聞いて子供達を連れてきてくれたらしい。  
他の孤児院の子供達。

今私たちがいる周りにはたくさんの孤児院があると聞いた。

実際、普通に町を歩くだけでも目にする。  
なんでなのってナマステイルドレンズホームの人に聞いたら、

「国が決めたんだよ。ここら辺は観光地だからね。」

だって、  
複雑。



それから新聞社とテレビ局の人が取材にっ！



写真左上の黄色いTシャツの後、  
日本に6年間いたという事でとっても日本語が上手。

ナマステイルドレンズホームのボスの兄弟の息子らしい。  
ナマステイルドレンズホームはここら辺では結構有名みたいで、ピクファミリー。

そしてこの黄色Tシャツの後、テレビ局との取材も新聞社の取材でも通訳をしてくれた。  
本当に助かった。心から感謝しています。

カテゴリ:

post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.11 | [バーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[It's my Life](#) > 2011年07月 アーカイブ

11.07.08

7月5日：写真展準備2日目

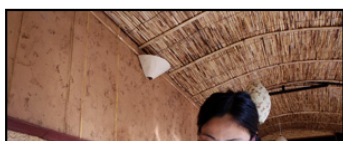
[Tweet](#)

[Check](#)

写真展準備

会場設営班と外回り班に分かれての準備。

会場設営は清水さんと高野さん。





私と娘は外回り。



インターネット屋さんにも貼ってもらいました。



ボカラの街の一角に懐かしき看板が・・・？



セブンイレブン？おおー！あのセブンイレブンか・・・

っと思いきや、これはコンビニなんかではなくレストランです。  
夜になるとどこか大音量で音楽がかかっています。

それから街を歩き宣伝。

ボカラを思っていたよりも都会です。  
といってもカトマンズよりも田舎で、都会と言っても小さな町です。  
とってものがで、涼しい。

カトマンズでもそうでしたが、ネパールではいままでの国以上にPOLICEを見かけます。  
カトマンズでは、大統領の車の横断に出くわし、その時は大統領が通るって事で納得した  
のですが、ボカラでもとってもPOLICEを見かけます。なぜでしょう。マオイストを警戒  
しているからかな。

ちなみにカトマンズで大統領と出くわした時の写真はコレっ！  
すごい人、人、人。





あ、もちろん、ボカウで出会うPOLICEにも宣伝のピラは数枚渡しました。  
もらってくれた！

POLICEとも出会い、セブンイレブンとも出会い、

歩いていたら子供たちが寄って来た。

宣伝のチラシを通して、旗を開かれ、名前を開かれ、  
それ意外の事はネパール語やったから分からない。  
でも、ピラがとにかく欲しいらしくて。

宣伝しておくれよ。っと数枚車で渡した。

そしたら本当にお手伝いをしてくれた！  
ありがとう^^



この子供達は多分、家のある子だと思います。身なりも綺麗。  
「私たちのホームに来てよ。」  
っと私の手を引っ張り来ます。

子供達とに引かれて町を歩く。  
子供達は宣伝のピラを一生懸命配ってくれる。  
だけど、子供達が配るピラを町の人にはなかなかもらってくれない。  
なんだこいつ。っと言うような目で見る。

子供達が私に行く前に私が「ナマステ」とあいさつをするとニコッと笑って子供達のピラを受け取ってくれる。  
きっと町人はストリートチルドレンと思っているのかな。  
なんだから。  
なんだか悲しかったけど、それでも子供達はネパール語で説明してくれたし、とっても笑顔くれた。元気だね。子供は。

日本人が珍しいんだろうね。







それからこの夜は結婚式があった。  
堯と高野さんが結婚式の写真を撮るお手伝いをしていた。



その場で私たちも写真展の準備をっ！



結婚式に来ていた子供たちが、入り口に置く予定の看板を作るのを手伝ってくれた。



私たちのグループ名は、「ブルーバード」  
これは清水さんが書いたブルーバードを見て真似して子供が書いたブルーバード。

？

レッドバード。

かわいいね。





本当にたくさんの人に協力してもらっている。  
最後まで頑張ろう！

[続きを読む "7月5日：写真展準備2日目" »](#)

カテゴリ：  
post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.08 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

It's my Life > 2011年07月 アーカイブ

11.07.05

## 7月4日：ハッピーバースディ！

[Tweet](#)

[Check](#)

そして7月4日は高野

さんの誕生日っ！  
25歳になった高野さん。  
おめでとう！

ホテル敷地内にあるブランコではしゃぐ25歳。



清水さんも楽しそう！



夜には高野さんの誕生日会っ！



ホテルの人に頼んで、サプライズバースディケーキ！



みんなでTシャツをプレゼント。  
ホテルの人と一緒にバースディソングを歌った。

よろこんでくれてよかった^^  
写真展頑張ろうね。

それから実は7月4日はおっかあの誕生日

おっかあ、誕生日おめでとう！  
スカイプで時間遅かったけど話せてよかった^^  
おっかあの誕生日を直接祝ってやれんけど、海外におるってすごい素敵な事と思うよ。  
素敵な経験させてくれてありがとう。

帰国したら、まずまんまが食べたいです。

カテゴリ:

post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.05 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

It's my Life > 2011年07月アーカイブ

11.07.04

## 私には見える。

[Tweet](#)

[Check](#)7月4日、朝9時の便  
でネパールカトマンズ

からボカラへ飛行機で飛ぶ予定でした。  
天気は曇り。



空港へ到着、飛行機のチェックイン。

パスポートの提示はなし。

めずらしいというのが初めてでびっくり。

チェックインは搭乗予定の約2時間前だった。

朝早くからホテルで朝食を食べられないと言う事で、ホテルの人がお弁当を作ってくれた。



パン、サンドウィッチ、卵、りんご、ジュース。

美味しさは別として、お弁当まで渡してくれたホテルの人に感謝だ。

それと朝早くだったのに、お見送りをしてくれた、熊倉局長、丹下さん、森上。

ありがとうございます！

あ、ごんそちも見送りしてくれた。。

ありがとう

ネパールの天気、山の天気は分かりやすく予想出来ない。

その為、よく飛行機が遅れるといわれていた。



とりあえず予定の搭乗時間を2時間まった。。

カトマンズの空港は、国際線と比べてちっこいと感じた。

空港の中でネットはもちろん通じないし、食事するところなんてない。食べ物を買ったりするところはポツポツとあったが空港の値段は高いから、基本何もする事がない。

朝早くから眠いし・・・

たまにうたた寝をしながら・・・

それから搭乗時間になった。搭乗の時間なのに一向に搭乗のアナウンスがからない。

堤が、空港で係の人にこまめにフライトの事を聞いてくれた。

ありがとう、堤。

堤が聞いてくれたところ、9時の時点でボカラで雨が降っていて空港が開いていないとの事。

やっぱり遅れた。



機舎局長に聞いていたのは、  
「朝の便なら、予定の時間に乗れなくても、  
99パーセントその日にボカラへ行けるよ。  
夕方になるかもしれないけどね。」  
局長の言う通りだった。  
11時、搭乗のアナウンスがかかった。

私たちが乗るのは、フロベラの小型飛行機。  
30人乗り。



ネパールといえばヒマラヤ！  
ヒマラヤを見る為には飛行機の右側の座が良いと聞いていた我々日本人5人。  
座を取る為に、カトマンスでお世話になったアショカさんに言われた通り、飛行機がある  
場所まで短距離で乗るバスは最後に乗車し、一番乗りで飛行機に乗った。  
飛行機の右窓側で羽よりも後ろの座、一番後ろを確保。  
飛行機の中は宇宙船のよう。っと徳田さんが一言。  
カトマンスからボカラまでは約30分。

あっという間。

その30分のフライトの中でヒマラヤを見る。

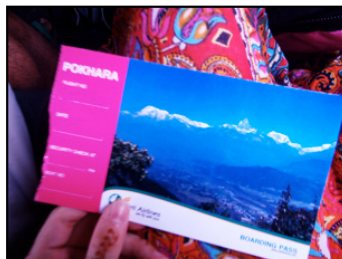
私はヒマラヤを見ました。



っと言うのは嘘です。

という報告をしたかった。

ネタバシは航空券の写真です。



ヒマラヤって言われて、大きさが想像出来ない。  
想像なんてちっぽけなものなのかな。  
きっと想像を遥かに超えるんだろうな。  
見れた時の感動も、想像以上のかな。

今回はやはり曇っていて残念ながら見れなかった。  
でも晴れていたら思いっきり見えて、こんな風に見えるんだろうな〜と心の目でみまし  
たよ。

本来はこんなに曇り。



でも低空飛行だし、ところどころ晴れていてネパールの地が見えて綺麗だった。  
雲の上には芸術が！

雲の形の雲っ！



やっぱりロ分はあっという間。

ポカラに到着。



周りは山、山、山

久しぶり。

空気は新鮮やし、緑やし、のどかやし、なんもないし、

癒しかった。

地元も山に囲まれているからかな。

正直、地元にいる時はそのどかさやなんもなさに少し嫌な思いもあった。  
けど、やっぱりいいね。

それから会場を貸して下さるレストランの人が空港まで迎えに来てくれた。  
そして写真展の会場へ

今回、写真展を開催させてもらうのはHimalayan Kitchenというレストラン。

宿泊している場所のすぐ側。



予定より1日早く写真展を開催する事に。  
7月7日から、4日間写真展です。



カテゴリ:  
post by 原 いつほ | 日時: 2011.07.04 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

It's my Life > 2011年07月 アーカイブ

11.07.03

## ナマステっ！

[Tweet](#)

[Check](#)

今私たちは、ネパールカトマンスにいます。

強烈だったインド。そこからのネパールの涼しさ、ゆったりとした時間の流れ、ごちゃごちゃしてるけど、どこかインドとは違う街。空、山、人、何よりも、かわいいお店が多い事がなんだからとても久しぶりでとても嬉しい！

インドはインドで面白かった。

またインドへ行きたい。

最初はあのカオスに、格差に、クラクションに、人に、戸惑った。

嫌いにならないのが不思議。超ごみごみしてるし、うるさいし、警察するの面倒だし、暑いし、正直意味がわからないし、ストレスにもなる。



だけど、私インド嫌いじゃない。

すぐくいるんなインド見えたけど、インド。いいなって思う。

今度行くならもっと楽しみたい。堂々としたい。

もっともっと見て知りたいて思う。

(今度はガンジス川見たいな・・・ボソ)



インドは、ほんとにほんとにほんの瞬間の出会いでさえも、とっても素敵なものだと感じる事を教えてくれた。自分自身を考えた。相手の事を考えた。本当に自分の弱さを知った。日本を考えた。人間というものをすごく感じ、人間というものを考えた。

結局答えが出たか？と言われても答えられないかもしれない。

でも、インドに魅力感じ惹かれた。

魅力あり過ぎですよ。

ありがとう、インド。

タクシーのドライバーのおっちゃん(名前はゴラ)

【基本距離に関わらず往復600ルピーで、めっちゃくちゃ高いけど一番信用出来た。1



9歳になる娘さんが今月結婚するって話してくれた。何もしてあげられなかったけど、その話をするゴラの顔はとっても嬉しそうで私たちもとっても嬉しくなった。盆雷の差が激しいインドで、盆しい暮らしをしている人が結婚するのは嬉しいらしい。結婚しても嬉しい事も多いかもしれないけど、頑張ってもらいたいなって思った。】



ブルースカイカフェのおっちゃん（名前はサム）、



ホテルのおばさん、おにいさん、孤児院の人、本当に少しの間だったし、色々あったけど、一瞬の出会いもまた別れるのは本当に寂しい。



インドを惜しみながら昨日、7月2日にインドコルカタから、ネパールカトマンズに来ました。

空港では熊倉局長が迎えてくれました！  
なにかとってもホッとした。

昨日と今日と二日におたり、熊倉局長に日本食をごちそうになりました！





おそば屋さんで、熊倉局長とネパール現地ガイドのアショカさん！



インドでも一席、一応日本食は食べましたが、違います。とってもと〜っておいしいです！すばらしいです！





そして、吉田企画の吉田様に梅干しを、



熊倉局長にどら焼きを頂きました！



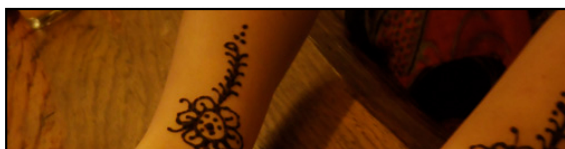
どちらもとても美味しく、感動いたしました！

みんなも満面の笑み！



ブログ上ではありますが、  
吉田企画の吉田様、熊倉局長、本当にありがとうございました！

それから今日は人生初のヘナ（メンディー）を森上、柳川と3人でやってきました！  
デザインのカタログがあるみたいですが、ここはお店の人にお任せでっ  
ヘナは独特な匂いがしました。一時間は洗ったり触らずにそのまま、その後は自由に洗  
い流していいとの事。  
洗い流した後は、黒色が黄色っぽい茶色っぽい色になります。







とっても可愛いっ！

両手合わせて、これで〇〇ルビー  
まあまあ安いでしょ^^  
持てば2週間持つとの事。  
遠歩いてたり、お店に入ると「かわいいね、ナイスねっ」っていろんな人が言ってくれます。  
嬉しい。

明日にはボカラです。ヒマラヤが見れたらいいです。  
ネパールでは写真展を行います。  
出発前から予定していた場所での開催がダメになってしまったりと、色々ありましたが、結局ネパールで連絡を取っていた孤児院の人に紹介して頂いて、ネパールボカラにある、レストランで開催させて頂ける事になりました。

7月2日、写真展荷物無事に受け取りました。



これから写真展を開催するにあたり、日本にいる池さんを始めたくさんの方にご協力して頂いて本当にありがとうございました！

これから4人、協力して頑張ります^^  
また、写真展の様子はブログでアップします！

っと、カトマンズ指定泊のホテルの看板犬！





去年もここにいたそうです。  
犬は今までたくさん見てきたし、大好きだけど、いままで出会ってきた犬は野良犬。  
犬きらいじゃないけど、野良は少し抵抗が・・・怖いです。  
この子は一応野良犬との事。でも、お手もするし、人懐っこい！  
とっても可愛くて癒されます。

名前がないと言う事だったので、勝手に付けちゃいました！

命名

『 ござろう 』です。

カテゴリー:  
post by 原 いづほ | 日時: 2011.07.03 | [ブログリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)